

神奈川県皮膚科医会

第173回例会

第231回相模原市皮膚泌尿器科医会学術講演会

下腿潰瘍は日常診療で頻繁に遭遇する疾患です。壊死組織があれば除去し、外用療法を開始することが多いですが、難治・遷延することも少なくなく、しばしば治療に難渋します。下腿潰瘍を生じる成因は多岐にわたり、静脈還流障害、動脈循環障害、膠原病、血管炎、壊疽性膿皮症などの疾患が存在する場合は、病態に基づいた治療が必要になります。また潰瘍局所に行う治療としては、外用療法、創傷被覆材使用、外科的治療、局所陰圧閉鎖療法などの複数の選択肢があり、さまざまな方法を組み合わせていくことになります。このように奥深い下腿潰瘍の診療について、今回はNTT東日本 関東病院の出月健夫先生をお招きしてご講演を賜りたいと思います。出月先生は皮膚外科をご専門とされており、下肢静脈瘤の治療も行われています。本講演により、下腿潰瘍の精査・治療方法についての理解が深まり、明日からの診療に役立つことと思いますので、多くの先生のご参加をお待ちしております。

日時:令和6年12月1日(日)

例会 14時00分より

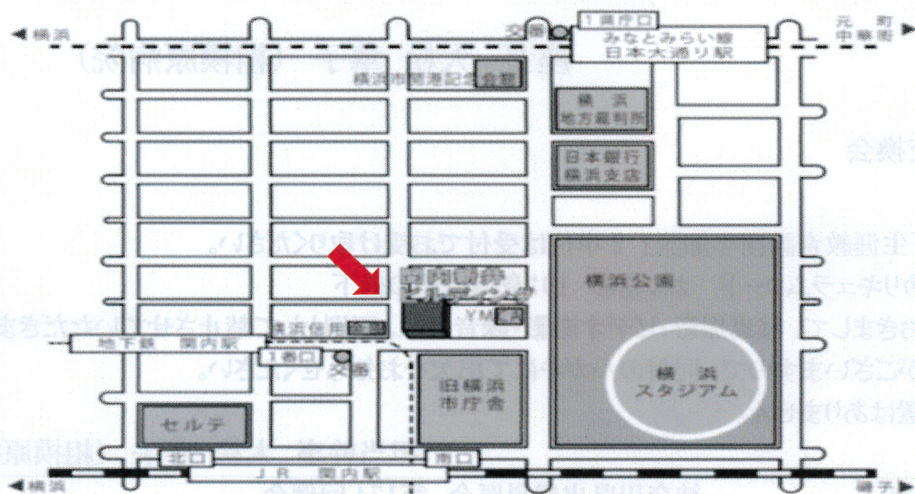
情報交換会 17時00分より

会場:関内新井ホール (横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル11F TEL:045-681-6763)

形式:現地開催 ※会場参加のみ(WEBはありません)

医会事務費:3000円徴収いたします。

※会員でない方も参加可能です。



【アクセス】

- ・JR 京浜東北/根岸線「関内駅・南口」より徒歩3分
- ・横浜市営地下鉄「関内駅・1番出口」より徒歩2分
- ・みなとみらい線「日本大通り駅・1県庁口」より徒歩7分
- ・お車でお越しの方 公共駐車場をご利用ください

共催 神奈川県皮膚科医会 相模原市皮膚泌尿器科医会
鳥居薬品株式会社

第173回例会プログラム

テーマ：下腿潰瘍

14:00 開会
医会報告
健保コーナー Q&A

14:30 教育講演
「病態理解に基づくアトピー性皮膚炎の治療戦略
～適切な外用療法で目指す治療ゴール～」

中原 剛士（九州大学大学院医学研究院 皮膚科学分野 教授）

座長 高須 博（相模原市）

15:30 ————— コーヒーブレイク(20分) —————

15:50 イン트로ダクション 大松 華子（国立病院機構 相模原病院）

15:55 特別講演
「下腿潰瘍の精査・治療方法」

出月 健夫（NTT東日本 関東病院 皮膚科 部長）

座長 大松 華子（相模原病院）

17:00 情報交換会

- ※ 日本医師会「生涯教育講座参加証」2単位は受付でお受け取りください。
今回の取得カリキュラムコード 26:発疹 19:身体機能の低下
- ※ 講演会場におきまして、写真撮影・ビデオ撮影・録音等は、原則として禁止させていただきます。
- ※ 準備の都合がございますので、同封のハガキにて出欠をお知らせください。
- ※ 託児室の設置はありません。

担当幹事 大松 華子（相模原病院）

次回例会予定

神奈川県皮膚科医会 第174 回例会

日 時：令和7年3月2日(日)

会 場：関内新井ホール

テ マ：皮膚病理

担当幹事：金岡 美和

共 催：レオ ファーマ株式会社